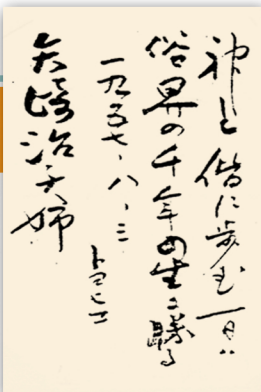


PROGRAM NOTE

聖書のおばあちゃん 矢崎治子談



私共のおりますユバ農場は、百名ほどの老幼男女の日本人共同体でキリストの精神に根ざし、祈ること、農業すること、芸術することをモットーとしています。二十余年前、長男が思いがけない主の導きでここに移住したのが縁で、私共も日本で定年退職したあと永住者としてまいりました。



私はクリスチャンホームで育ちましたから、生まれた時から神様がいることは当たり前だと思っていました。九歳で幼児洗礼を受け、昭和元年女学生二年生の時に信仰告白して教会員になりました。台北の女学校卒業後は東京のキリスト教の学校へすすみましたが、クリスチャンとしての深い自覚はありませんでした。そんなある日、救世軍の創設者山室軍平先生の集會に導かれて自分の罪深い本当の姿に目覚めたのです。実は私が十歳の頃、山室先生とは台北でお会いしたことがあり、母は先生が伝道旅行に来られた時には世話係をしていたのでよく著書などが送られてきました。その頃から尊敬していた事もあって、救いを確信して救世軍に献身。そこで同じ救世軍士官であった主人と結婚しました。戦時中は救世軍は解体させられましたので賀川先生のお声がかかりで小金井にできたばかりの福祉事業の系列に属する保育園の先生をすることになりました。

賀川豊彦先生とは、母が台湾で伝道集會などのお供をしていたこともあって、後に私が神戸の貧民窟のそばで救世軍の奉仕をしていた頃にはよく祈禱会や集會に出席させてもらっていました。そんなことから賀川先生が保育園を開られる時に私のことを覚えておられ、まず両親に「娘さんに私の仕事をたのむよ」と断った上で、私には「キリスト教をしっかりとやりなさい」と言われました。



CJBリスナーをたずねて
三十年目の出合い
南米
ふれあいの旅
<ブラジル編>

幼児教育にたづさわっていた頃、保育園研修会にいつも講師として来ていただいていた太田俊雄先生が新潟に敬和学園をはじめられる事になり私もささやかながらサポートさせていただいていました。また次男が理科大を出て数学の教師の口をさがしていたので紹介したところ、本人も太田先生の人柄にひかれて即刻教師としてつとめるようになりました。私の「アンデスの声」との出会いはその敬和学園高校のモス校長夫妻が放送されたことがきっかけとなったのです。はつみ夫人がインタビューの中で「ブラジルには矢崎という知人がいる」と話していたことを知らされたのです。しかし、ユバ農場にきて間もない頃の私のラジオは周波数が少なくてきけず、これは困ったなと思っているうちに日本からのラジオが手にはいりそれからずっと「アンデスの声」をきくようになりました。人生いろいろつながりができるものですね。

ユバ農場に来たのは長男正勝がさきに来ていたこともありますが、「キリスト教をしっかりとやれ」と励まして下さった賀川豊彦先生のことば、また山室軍平先生の「魂へ行け」という意気込みが私をここまで生かしてくれたのだと思います。ここでは私はみんなにおばあちゃんと呼ばれていますが、これからも小さな魂にしっかりと聖書の話の毎日きかせてやりたいと思っています。(1996年4月3日放送)

サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

6月01日	南米ふれあいの旅：NHKアワード受賞記念特別番組
6月08日	南米ふれあいの旅：弓場農場 辻 義基
6月15日	南米ふれあいの旅：弓場農場 矢崎治子
6月22日	南米ふれあいの旅：弓場農場 小原明子
6月29日	南米ふれあいの旅：アマゾン 錦戸理平/東海林善之進

バイブル・トーク

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

6月02日	魂の叫び：旧約聖書 詩篇65篇
6月09日	魂の叫び：旧約聖書 詩篇66篇
6月16日	「お便り交換」の時間です
6月23日	魂の叫び：旧約聖書 詩篇67篇
6月30日	魂の叫び：旧約聖書 詩篇68篇

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15525kHz (再放送) 午後7時55分~8時25分 15490kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)